



特集

大好き!

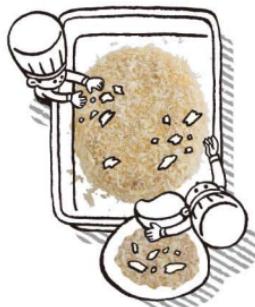
コロッケ

IT'S A SPECIAL!

料理 遠田英由紀 摂影 鹿江ヒカル
イラスト・山崎絵里子 (株)KADOKAWA



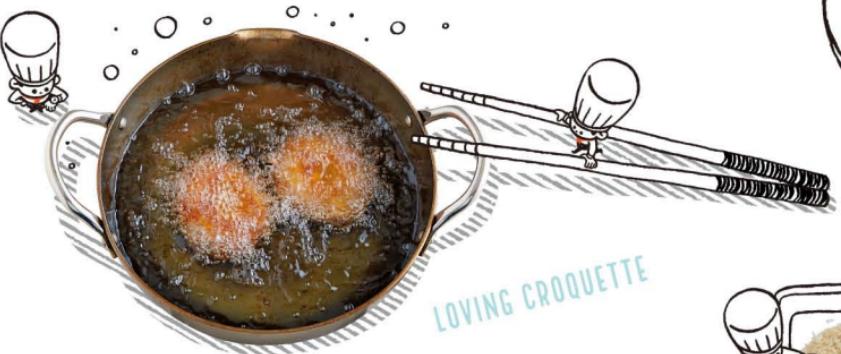
Let's make it together.



SO DELICIOUS!

LOVING CROQUETTE

おいしいもをつぶして、
衣をつけて、
ちょうどいい温度でカリカリと揚げて。
ていねいに作るコロッケは、
ちょっと手間がかかるけれど、
アツアツの揚げたてをほおばれば
そんな苦労もふきどんじやう!...
気どらず食べられるホテトコロッケも
レストランみたいなクリームコロッケも
おいしく作れるようになつたり、
おいものを、貝を、衣を変えて
ひと味違うアレンジに挑戦。
絶品ぞろいのコロッケバリエーション
きっと何度でも作りたくなるはず!...



材料の下ごしらえ



- ・魚介や肉は、材料に残った水分による油はねや、そり返りに注意。えびなら、尾の水気をしごき、切りこみを入れます。
- ・コロッケは、生地が温かいうちに揚げるど、身がくずれて破裂しがち。あら熱がとれるまでさましてから衣をつけます。
- ・油を入れる鍋は、揚げものの専用のものおすすめです。薄く小さい材料なら、深めのフライパンでも揚げられます。
- ・揚げたものをとり出すときに便利な網しゃくし、揚げたのを置いて油をきる揚げバットと揚げ網。使用済みの油を保存するオイルボットなども用意します。

揚げものならではの道具



Q

どんな準備が必要要?

フライの衣を上手につけるには?

Q

フライの衣を上手につけるには?



- ・とき卵に水を加える(卵水)と、卵だけより粘度が下がり、まんべんななくつきます。
- ・パン粉は軽く押さえつけるようにして、すき間なく均等な厚さにつけましょう。
- ・手がベタベタにならないよう、全部に小麦粉をつけてから、片手で卵水をつけて、もう一方の手でパン粉をつけます。
- ・フライの衣は小麦粉、卵水(とき卵+水)、パン粉の順に3段階でつけます。時間がたつと、パン粉が材料の水分を吸ってしめるので、揚げる直前につけます。
- ・小麦粉は卵水をつけてよくしますが、粉をつけすぎると衣がはがれる原因に。余分な粉ははたいて落とします。

小麦粉は薄くつける



Q

どんな準備が必要要?

フライの衣を上手につけるには?

Q

どんな準備が必要要?

お料理初めてさんも
ベテランさんも
ポンと手を打つ
なるほどキッチン!
材料に、パン粉の衣をつけて
揚げるフライ。
揚げものの中でも
ちびりコソがりますが、
ポイントを押さえれば
だれでも上手に揚げられます。
今夜のおかずは、フライで決まり!

サクサクに
揚がった衣が
たまらない!

なるほど
キッチン



なす

選び方

がくのとげが鋭く、
とがっている

皮の色が濃い
ハリとツヤがある

✗ 皮に傷がある
✗ しなびてている



へたを切り落とす
がくの切り込みが深いところに包丁を入れて、
へたを切り落とすと、
がくもとれる。

保存のコツ

涼しい場所で保存する
低温で弱いので、2~3日ならポリ袋に入れて、涼しい場所に。それ以降は野菜室で保存する。
冷蔵庫に長く置くと、実に黒い傷ができる。食べられるが味は落ちるので、みそ炒め、田舎煮などの味の濃い料理に。

選ぶのコツ

切った水にさらしてアクを抜く
端っこはアクが強く、繊維も多いので、1~2cm切り落として使う。
切り口はすぐに黒ずむので、切ったすぐ水にさらす。
アクは皮のすぐ下にあるので、きちんとや上部に仕上げたり料理で皮をむく場合は厚めに。

常温で保存する

低温で弱いので、新聞紙に包み、日の当たらない涼しい場所で保存。
使いかけはラップに包み、野菜室へ。

保存のコツ



さつまいも

選び方

かさ

石づき

軸

肉づきがよい

選ぶのコツ



洗わずに使う

水で洗うと風味が落ちる。栽培物は土汚れがないので、手で汚れをはらうか、ペーパータオルでふく程度にする。汚れが気になるときは、使う直前にさっと洗う。

保存のコツ

野菜室で保存

買ったままのまま野菜室で保存。いたみやすいので、早めに使う。水気弱いので、ポリ袋に入れる場合は口は閉じない。生のまま冷凍も可。薄切りにして保存袋に入れて冷凍し、凍ったまま加熱調理する。

保存のコツ



しいたけ

選び方

かさ
石づき
軸

選ぶのコツ



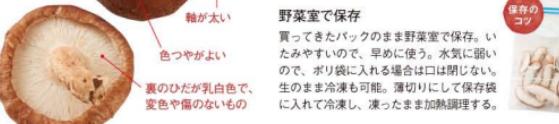
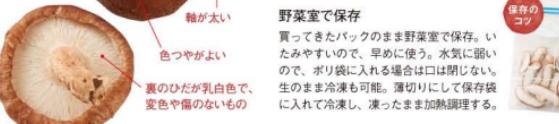
洗わずに使う

水で洗うと風味が落ちる。栽培物は土汚れがないので、手で汚れをはらうか、ペーパータオルでふく程度にする。汚れが気になるときは、使う直前にさっと洗う。

保存のコツ

野菜室で保存

買ったままのまま野菜室で保存。いたみやすいので、早めに使う。水気弱いので、ポリ袋に入れる場合は口は閉じない。生のまま冷凍も可。薄切りにして保存袋に入れて冷凍し、凍ったまま加熱調理する。



なす

旬の野菜を、毎日おいしく。

季節を味わうおかずレシピ。

旬の野菜で
毎日おかず

九月

旬の野菜を、毎日おいしく。
季節を味わうおかずレシピ。
料理 大井一郎・新田裕美・宮内香子(著)